

研修・視察報告書

R6 年 7 月 7 日

太田市議会議長 様_

参政党 仁藤すぐる

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	R6 年 7 月 7 日(日) ～ R6 年 7 月 7 日(日)				
研修・視察先 及び所在地	JEC日本研修センター心斎橋 7日(日) 大会議室 住所：大阪市中央区南船場1-18-11				
議 員	仁藤すぐる				
目 的	地方議員の役割を確認し、一人会派の戦略を学ぶため				
概 要	「地方議員の役割とは」 講師：近藤憲治 氏 元網走市議会議員 ① 現場主義 ② 課題解決の請負人 ③ ファシリテーター ④ 議会の中での軸 ⑤ 住民とせいじ行政の通訳 「一人会派・少数会派の戦い方！一人でも政策を実現する秘策！」 講師：村山祥栄 氏 元京都市議会議員 ・動きやすい政策内容 ・議員にとって「結果」とは何か ・命がけの政策 ・行政は情報戦				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	0 円	31660 円	0 円	0 円	31660 円

所 見	<p>「地方議員の役割とは」</p> <p>元網走市議会議員による「地方議員とは」の講演を聴講しました。序盤では、37年ぶりに鉄道を走らせた話がありました。講師が伝えたかったのは、住民の意識を変えていくことの重要性和、街づくりのプレイヤーになる必要性でした。鉄道を走らせた理由は、当事者意識を住民に与えるため、言葉では伝わらないため目に見える形で鉄道を走らせたとのことでした。本市においては、太田駅北口のポケットパークがそれにあたると感じました。</p> <p>その後、アバシリチャンポンや日本一長いちくわといった地域の方々を巻き込んだ街おこしや産業おこしの事例が紹介され、今後の地域活性化のヒントとなりました。また、高校生との「どういう選挙だったら行きたくなるか？」をテーマにした交流が紹介され、若い世代の意識を理解することで議員の意識も変わるとのことでした。これは本市でも是非取り組むべきだと感じました。</p> <p>特に印象に残ったのは、「議会での軸」というテーマで、一般質問にリアリティを持たせることの重要性を強調していた点です。これまでの一般質問を振り返り、地元の意見が足りないと反省しました。もう一つは、議案に対する賛成・反対の理由を「街の未来の人に説明できるか？」という問いかけです。議案は街を作るものであり、将来の人々のことを考える必要があると改めて意識しました。</p> <p>講演では、「網走市議会を含めた我が国の地方議会の存在価値が問われている。行政の監視も重要ですが、地域課題の発掘や政策立案・提言を積極的に行うことが大事である」と説明がありました。地方議員は行政に対しての「最後の砦」であり、街を良くするも悪くするも議員にかかっているとのことでした。行政のチェックだけでなく、街が抱える課題をどう解決するかを考えることが求められます。</p> <p>例えば、網走市でごみの最終処分場が予定より早く満杯になりそうな問題を一般質問で取り上げたところ、地元メディアも取り上げ大問題になりました。しかし、その結果、会派を追われ、妻も仕事を失うことになりました。正義を貫くには相当な覚悟が必要であることも学びました。また、三ヶ月間放置されていたじめの問題も議会が暴いたとのことでした。私たち議員が本気で行政の課題や問題に取り組めば、本市はさらに良くなるという当たり前のことを再確認した講義でした。</p>
--------	---

所 見	<p>「一人会派・少数会派の戦い方！一人でも政策を実現する秘策！」</p> <p>議員にとっての「結果」とは何でしょうか。それは、提案した政策が実現すること、選挙に勝つこと、別の政策（陳情）が実現すること、議会での立ち位置を確立することなど、多岐にわたります。結果は必ずしも一つではなく、多様な形で現れます。執行者との関係も、自分に合わせて築いていくことが大切です。例えば、「あの人は怒らせると怖い、何をしてくるか分からない」と思われるようなイメージを持たせるのか、「平身低頭で人間性がある」と思われるようなイメージを持たせるのか、注意深く接する必要があります。</p> <p>議会の時代の変化についても触れておりました。昔の議員は、情報収集役や陳情処理係としての役割が中心でしたが、現在では情報はホームページやLINEなどを通じて直接市役所に持ち込むことで解決できるようになり、議員不在の政治システムが構築されています。もはや「地元と役所の橋渡し役」は不要となり、議員には監視機能と立案機能が求められています。このことから、会派に所属していれば十分という時代は終わったのです。一人会派として活動する上で、できないことも多いかもしれませんが、それでもバランスを取りながら取り組むことが重要だと感じました。</p> <p>行政も情報戦であり、政策は取引でもあります。基本的には折れないことが大切で、一時的に関係が悪化するかもしれませんが、そのうち元に戻るでしょう。と仰っていました。与しやすい議員の言うことなど誰も聞かないのです。役所の噂話を野放しにしてはいけないとも教わりました。京都市役所の汚職事件の多発についても触れられ、役所は必ずしも公明正大ではないことをきちんと見ておくことが大事だと学びました。</p> <p>マックスウェーバーの「職業としての政治」の内容から、政治家にとって重要な資質として、情熱、責任感、判断力の3つが挙げられます。重大な決定を行う気概や地域の命運を握る自覚も必要です。「人生で一番頑張ったことは何ですか？」という問いに対して、選挙や国家資格の取得など様々な回答がありましたが、政治家としては政策が一番に出てこないといけません。命がけの政策を実行できていますか？と講師は問いかけました。改めて、なぜ市議会議員になったのか、地域の皆さんのために何をやらなければならないのかを考え直すきっかけとなりました。スライドの4分の1しか進まず、時間が来てしまったのは残念でしたが、一人会派として今日学んだことを活かし、本市の発展に寄与していきたいと思えます。</p>
-----	--

